

平成 25 年 3 月

東部環境工場高反応消石灰選定要領

1. 【書類審査】

製品安全データシート、物性「平均粒径、比表面積、見かけ比重」等、粒度分布図、納入実績等についての書類を提出してもらい、現使用高反応消石灰との比較を行う。

2. 【実機試験】

- ・ 試験依頼書の提出
- ・ 高反応消石灰性能評価試験計画書（試験期間、試験の目的、試験の内容等）の提出
- ・ 高反応消石灰の導入試験に関する覚書（試験目的、試験内容、試験費用、試験の報告、事故についての責任、その他疑義等について）の締結
- ・ 消石灰タンクのクリーニング期間を含め、実機試験期間の日程を決定し実機試験を行い、現使用高反応消石灰との比較、検討し報告書を提出

試験内容

- 同一切り出し量における現使用消石灰との塩化水素濃度と使用原単位の比較
- 現使用消石灰との飛灰発生量の比較
- 現使用消石灰とのSO_x排出濃度の比較
- 現使用消石灰とのバグフィルター差圧及びその他不具合の検証
- 試験中の排ガス測定 など

3. 【実機試験期間中の不具合等の検証及び判定】

試験期間中に起こった不具合等の報告（運転係から消石灰供給、バグフィルター、飛灰処理について）を集計したものと実機試験結果データを併せて検証し、採用できるかの判定を行う。

（実機試験における設備の問題となる箇所）

消石灰設備 : 吹き込みラインの閉塞、定量供給機の不具合

バグフィルター : 差圧の上昇、逆洗タイマーの適正、バグ下チェーンコンベアの閉塞、飛灰搬送コンベアの閉塞

飛灰処理 : 飛灰投入コンベアの閉塞、飛灰貯槽タンクの閉塞、飛灰混練機の不具合、飛灰養生コンベアの閉塞

4. 実機試験可能期間については、別途工場担当者と打ち合わせのこと。